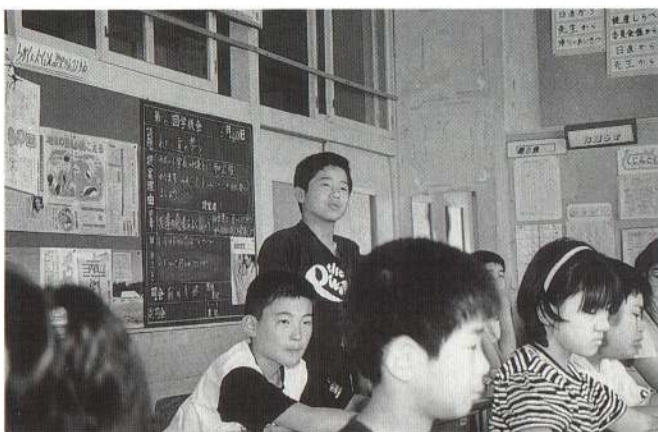


ドームで

こんなことをしてみたい

- ・テレビゲーム大会をしてみたい。
 - ・大型テレビで対戦型の大会を開催したら気持ちいいだろうなあ。
 - ・全国の有名なラーメンを集めて、市民が自由に試食できたらいいなあ。
 - ・子どもからお年寄りまで、みんなが参加して、自分の自慢大会。
 - ・私が100歳になったら、友達を集めて誕生会をやってみたい。
 - ・クラスのみんなが参加して、ア
- ・リーナでの鬼ごっこ。
 - ・かたらいの森に鳥や動物を放し飼いにしたい。また、馬を飼って乗馬もしてみたい。
 - ・かたらいの森に桜を増やし、春に市民花見会を開催してみたいなあ。
 - ・そのほかには早喰い、大喰い大会、美容師のコンクール、陶芸などの展覧会。ロボット操作大会、ペットボトルロケット大会、お菓



学級会に参加して

(財) 大館市文教振興事業団

野呂陽一

子作りの大会などしてみたいという意見もありました。

年一組の皆さんに小学生代表で見学していただきました。
アリーナでの生徒たちは、説明を聞くのもそこに走り回ったり寝そべったりと、微笑ましいようすでした。たまたまテレビ局の取材が入っていて、子供たちはインタビューを受けていましたが、以外や恥ずかしそうに受けていました。特に、野球部の三人組がコチコチに緊張していたのが印象的でした。

学級会では、「ドームをどのように利用してみたいのか」という夢を聞きたいと思っていました。ところが、地域の人口や経済力を冷静にとらえている子供たちは、ドームが地域の発展につながるかどうかという点について、必ずしも楽観していませんでした。現実にはばれ過ぎのきらいはあるものの、大人は何ができるのかという宿題を課せられた気分になりました。

数日後、城南小学校のグラウンド脇を歩いていると、野球部の一人から声をかけられました。振り返ってみたら、例の三人組の一人が手を振っていました。その明るい表情が、彼らの夢を表しているように思いました。

がんばれ、大館の小学生。

小学生は、大館樹海ドームにどのような夢を託しているのだろうか。興味津々で臨んだ学級会でしたが、六年生ともなると、物の見方は現実的でありました。シビアな発言にたじたじの場面もある二時間でした。
正式オープンの八月一日までは会館準備のため、極力見学をお断りしようとしていましたが、「子供たちの生の意見を聞きたい」という願望も強く、城南小学校の六